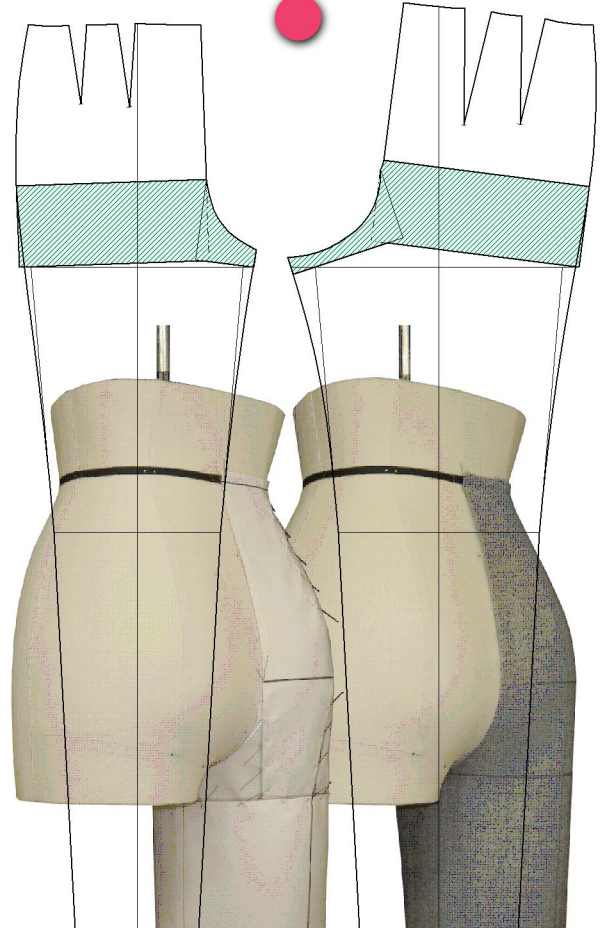


パンツは本当に難しい?

パンツは難しい…。いつになってもパンツのパターンで悩んでいるパタンナーが多いのは何故でしょう?その理由は、パンツというアイテムの歴史にあるのです。

もともとは、腰から脚を包む「hose」(ホース/管の意味)と呼ばれる履物だったものが、時代と共にファッションを表現するための極めて重要なアイテムとなり、それに伴って美しいシルエットが要求されるようになりました。しかしながら、その基本的な構造は、今となっても「hose」であったときのまま、変わることなく連綿と続いているのです。

今回は、遥か昔から2枚のパーツだけで作ることが宿命とされた、パンツという手ごわいアイテムに真っ向勝負を仕掛けます。従来の製図法やドレーピング手法では理解できなかったことを、全く新しいアプローチと極めてシンプルなメソッドで、パンツの構造を分かりやすく解説します。また、このメソッドを実証するために実際のモデルを使って、その場でパンツを作製し試着検証を行います。体型や素材によってシルエットはどう変わるのか、ゆとりと運動量は何が違うのかなど、今までの疑問点を一つ一つ明かにしていきましょう。今回も小難しい数値理論は一切ありません。皆さんもこの機会に、パンツについて改めて考えてみませんか?



講師プロフィール

菊地 正哲 Kikuchi Masanori
イトキン(株) 生産本部技術課 課長

1978年 文化服装学院デザイン科卒業
1978年 株式会社馬里邑(デザイナー)
1982年 株式会社レナウン(チーフパタンナー)
1996年 東レ株式会社(パターングループリーダー)
2002年 イトキン株式会社(現職)
2016年 本協会運営委員に就任



日 程 2016年8月27日(土)

時 間 午後1時より5時
12時30分受付開始、途中休憩が入ります。

会 場 文化服装学院 B052教室

参加費 会員3,000円・非会員5,000円

受講申し込み書

----- 切り離さず、この用紙のままFAXしてください。 -----

FAX 03-5261-7075

氏名 _____

電話・FAX等 _____

住所 _____

会社名あるいは職種 _____